

豊中・サンマテオ姉妹都市

提 携 ニ ュ ー ス

2 0 2 0



2019年度 豊中市親善使節 サンマテオ市派遣活動報告 ～奥田 莉央～



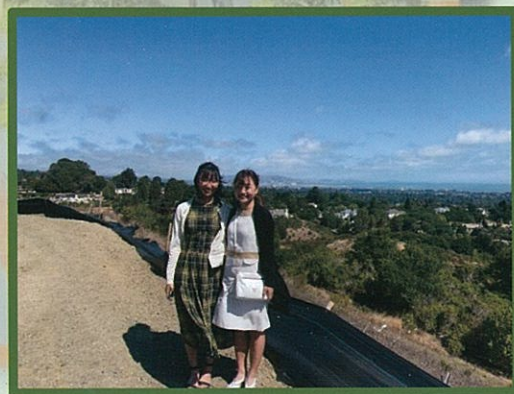
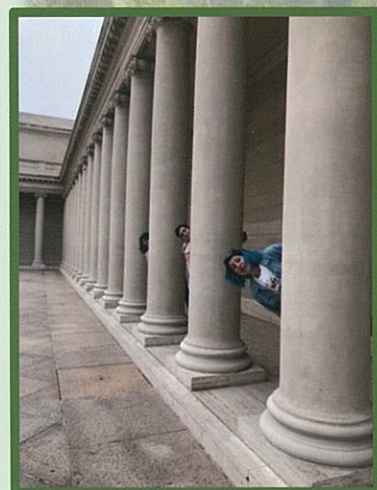
私は今年の夏に2019年度豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節として同じ高校二年生の石井真羽さんと共にアメリカのサンフランシスコから車で20分ほどのところに位置するサンマテオ市へ一週間ほど行ってきました。私は今まで海外へ行ったことが無く、一週間も家を離れるという経験もしたことがなかったので、今回の訪問は私にとって初めて尽くしのものでした。

私が感じた中で一番驚いたことは、向こうの方々のコミュニケーションの取り方です。

一つの家を見ただけなので、一概にアメリカの家族はこうだ、とは言えません。しかし、私が滞在させていただいた家では、毎晩どれだけ疲れていても眠たくても家族全員がそれぞれが一日に経験したことや、感じたことを報告し、さらに家族が感想を言い合っていました。これまで家で楽しかったことを話すことはあっても、それを全員が聞いて感想を言い合うということはありませんでした。学校で先生が「経験したことを自分の言葉で表現することで、感じたことがまとまり、自分の経験として心に刻み込まれ、経験するだけよりさらに価値のあるものにできる」と仰っていました。その言葉を聞いた時はあまり仰っている意味が理解できなかったのですが、今回の滞在中に自分の言葉で表現していくうちに、その意味が少し分かったような気がしました。いつもは漠然と楽しい思い出として終わってしまっていたことも、言葉に起こしていくと自分が感じた気持ちにぴったり合う言葉を選ぶために、何に対してどう思ったのかなどとさらに考えを深めることとなります。サンマテオでした沢山の同じ「楽しかった」という経験も娯楽からくる楽しさと達成感からくる楽しさは全然違った色の思い出として心の中に残ってくれています。

これからの人生でたくさん貴重な経験をいただく機会があると思いますが、そのたびに自分の言葉で表現する、ということをお忘れずに、その経験から得られることを全て吸収して未来へ活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、一緒にサンマテオへ訪問した石井さん、サンマテオの滞在中私を本当の家族のように受け入れて下さったムーサ家、サンマテオから日本への親善使節団の方々、たくさんのサポートをしてくれた家族、その他英語弁論大会、親善使節派遣に関わってくださった全ての方々へ感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。



2019年度 豊中市親善使節 サンマテオ市派遣活動報告

～石井真羽～

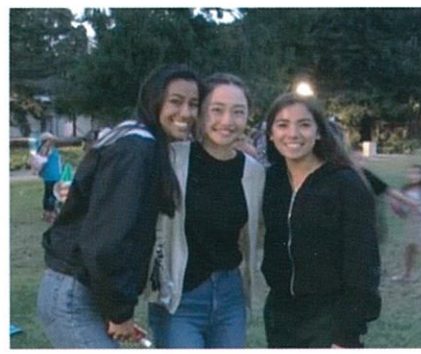
私は豊中市親善使節として、8月4日から11日までの1週間、姉妹都市であるサンマテオ市を訪問した。本当にあっという間の、とても濃い時間を過ごし、楽しかっただけでなく、間違いなく私にとって大きな刺激となり、新たな視野を手に入れることができた一週間となった。

日本と比べ、オールリサイクルの建物が多く、ごみの分別やリサイクルも徹底されており、環境保全への意識が高いことや、どこの国の人であろうと、同じ人間だということを感じた。まだカリフォルニアの一部を見たに過ぎないが、文化の違いを除けば、同じ部分が多いと感じた。子供達は同じように遊び、初対面の私にとってもやさしく接してくれる。私の英語は完璧ではなかったが、その意志、意欲があれば十分にコミュニケーションはとれるし、その思いが伝われば、相手も理解しようとしてくれる。人間の温かさを、身をもって感じた。文化、人種の違いを乗り越え、たくさんの人々が共存している様子を目の当たりにし、私にはもっと学ぶべきことがあり、自分の生きる道、本当にしたいこと、多くの人のためにできることを明確にしていこうと思った。

その中で今回、1週間の滞在を通して一番感じたことは、この姉妹都市プログラムの意義だ。上に記したことは、ホームステイによって生の生活を知ることや、市による施設訪問がなければ気づけなかったことだ。以前から豊中市でこのプログラムに携わってきたが、サンマテオ市に実際に行き、サンマテオの人々の温かさに触れ、姉妹都市という特別な絆の尊さを改めて感じた。姉妹都市交流でできた友達に再会したときは本当に嬉しかったし、姉妹都市の絆のありがたさを一番感じた瞬間だった。また会う約束を交わすこともでき、次までにはもっと英語力をあげよう、知識も増やし、もっと仲良くなろう、そう思った。私の新たなモチベーションができ、自分の目的のために学習する、学習の真の意義を見つけられた気がした。

私が一週間の滞在中を楽しみ、学び、有意義な時間を過ごすことができたのは、出会った人みんなが温かく私を迎えてくれたからだ。逆の立場になった時、私たちは慣れない外国人、英語という壁を乗り越えなければならない。この姉妹都市関係をより深めるために、私たちのより一層の努力が必要になると思う。そして百聞は一見に如かずというように、より多くの人に交流を経験してもらいたいし、大きく視野を広げてくれた、刺激を与えてくれた姉妹都市交流に続いてほしい。

たった1週間であったが、英語漬けの日々を送り、英語の夢を見るようになり、憧れの生活ができて、本当に最高の経験となった。豊中市、サンマテオ市のこの派遣のために協力してくださった方皆さんに本当に感謝しているし、これからもぜひ協力させていただきたい。



2019年サンマテオ学生親善使節 来訪記



2019年7月31日から8月7日までサンマテオ市から学生親善使節がやってきました。2019年は少年野球の交流事業が40周年を迎える特別な年ということもあり、事業をより一層盛り上げるために少年野球チームと一緒に訪問となりました。

アラゴン高校で日本文化研究会に所属しているイアン・コウさん、昨年の子ソフトボール親善交流事業に参加し豊中市を訪問した経験のあるケイトリン・リーガンさん、兄弟姉妹3人目の親善使節となったヴァイオレット・マクナリーさん、地域のボランティア活動に積極的に取り組んでいるというロシュニー・サフさんの4人が来訪され1週間で豊中で滞在されました。

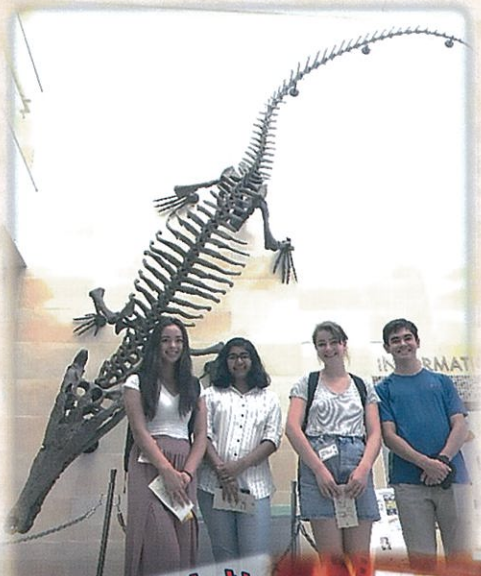
ホストファミリー対面式では豊中市親善使節の奥田莉央さん、石井真羽さんの2人も一緒に4人を出迎え、奥田さんご家族にお手伝いいただきお茶会を開き、4人を歓迎しました。「一週間という短い期間、本当に暑い豊中ですがホストファミリーと過ごす時間をめいっぱい楽しんでください」と2人。

本格的なお茶会にサンマテオからの4人もビックリされた様子でしたが、正座にも挑戦してくれました。「お砂糖なしで抹茶を飲んだのは初めて！そんなに苦くないですね」とケイトリンさん。日本式のおもてなしで早速打ち解けた6人は、翌日に控えるセレモニーでのサンマテオ市紹介企画の内容を打ち合わせました。



ケイトリン・リーガンさんは昨年度の女子ソフトボール親善交流事業にも参加されており、ぜひともこの交流を継続させたいという意志をもって再来訪されました。一年ぶりに豊中市立第十五中学校、豊中市立第十七中学校の女子ソフトボール部員とも再会を果たし、次回はサンマテオ市で再会しようとして豊中市の女子ソフトボール部員の皆さんと約束されました。





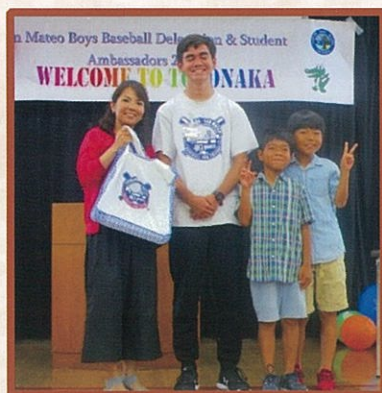
伏見稲荷大社
～清水寺



ユース交流会では、豊中の学生生活を体験してもらおうと、両市の親善使節6人とホストファミリーと一緒に、街を散策しお好み焼きランチを楽しみました。

ホストファミリーの家庭で教わる日本の生活様式や、学生たちのリアルな日常を経験したことで、今まで以上に豊中を身近に感じてもらえたことと思います。

一週間家族同然に過ごしたホストファミリーとの別れを惜しみつつ帰国された4人。豊中が第二のふるさとだと感じてくれていることでしょう。



2019年 豊中・サンマテオ少年野球親善交流 40周年



7月31日から8月7日までの一週間、サンマテオ市から少年野球チームが来訪されました。今回で10回目の豊中訪問となる本事業は今年で40周年を迎えることもあり、選手20人、親善使節4人を含む総勢39人が来訪されました。青年の家のいぶきで開かれたホストファミリー対面式では、選手たち全員が覚えたての日本語で「どうぞよろしくお願いします」と挨拶しました。

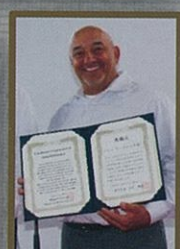
少年野球親善交流 40周年セレモニー 会場:豊中市役所ロビー



8月1日(木)豊中市役所のロビーで、少年野球団の市表敬訪問と、親善交流40周年を記念するセレモニーが開催されました。選手から市長への質問コーナーでは、「豊中市のおすすめポイントを教えてください」、「サンマテオに来たことがありますか」などの質問に市長が答え親睦を深めました。



セレモニーでは、両市間の長期間の継続的な交流に関わる両市の功労者に、豊中市長から感謝状が授与されました。参列者からは40年前にこの事業を始めた当時のエピソードや人生においてもこの事業が尊い経験であったことを聞くことができました。



感謝状を贈呈された皆さん



写真左上から桑村三十三さん、ジョージ・ムサンテさん、キャロライン・シャベルさん、エドワード・ブラウンさん、ダニエル・ハリスさん、ヨウコ・アンダーソンさん、ジョン・ディマティオさん、北野信義さん、加藤忍さん、藤原隆雄さん、長尾卓さん



一日目の午後からは、会場を豊中ローズ球場に移動して親善試合の開会式と、第1試合が開催されました。選手宣誓ではブルータイガースの本間航太さんが気持ちのこもった素晴らしいメッセージを日本語と英語で読み上げ、大きな拍手が沸き上がりました。豊中ローズ球場にはレッドとブルーに分かれて構成された豊中代表チームと、サンマテオ代表チームが勢ぞろいして、正々堂々と戦い、大いに交流することを誓い親善試合が開戦されました。



またこの交流事業開催にご協力いただいているダイワマルエス株式会社さんと、株式会社ベルエポックさんには、市長からの感謝状と、選手たちがメッセージを寄せ書きした色紙が送られました。

協会主催のさよならパーティ 会場：豊中市立文化芸術センター多目的室



最後の夜には、姉妹都市協会主催のさよならパーティを実施しました。選手には揃いの法被、関係者にはそれぞれをイメージした手ぬぐいを協会からプレゼントしました。一人一人ホストファミリーへの感謝の気持ちを涙ながらに伝え、別れを惜しむ感動的なパーティになりました。



京都・奈良観光



来日時の恒例となっている京都・奈良観光では、伏見稲荷大社、清水寺を見学。東大寺、奈良公園へと出かけました。奈良公園ではおじぎをして餌をおねだりする礼儀正しい鹿が大人気でした。暑い日でしたがわいわいと観光を楽しみました。



お世話になったホストファミリーのみなさん



ホストファミリーの協力なしには実施できないこの交流事業。

毎日の送迎、食事の準備から見送りまで、我が子のように接して下さったホストファミリーの皆様には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。再会を願って、そして互いの成長を願って、選手たちは翌日大阪国際空港で見送られ、サンマテオへと戻られました。

今後もこの事業が末永く続くことを願いたいと思います。

Special Thanks

■ホストファミリーのみなさん
■株式会社ベルエポック

■ダイワマルエス株式会社
■豊中市少年野球連盟

■豊中市体育連盟

第48回高校生英語弁論大会

The 48th Annual English Speech Contest



2020年1月25日(土)、第48回高校生英語弁論大会を豊中市立文化芸術センター多目的室で開催し、豊中市内外15校25人の応募者の中から一次審査を通過した、12校20人が出場しました。

当日の審査は、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院短期大学准教授のウィリアム・クラインさん、当協会監事の川合隆子さんの3人により行われました。

また、志望理由書の審査には国際ソロプチミスト豊中一千里の皆様にも審査いただきました。

第48回英語弁論大会の受賞者

賞	受賞者	高校名	演題
豊中市長賞	松田 そら	梅花高等学校	How Can I Change The World?
豊中・サンマテオ 姉妹都市協会会長賞	林 日茉莉	神戸女学院 高等学部	Laughter
国際ソロプチミスト特別賞	出利葉 美結	梅花高等学校	everyone is beautiful
優秀賞	末廣 真依子	梅花高等学校	Don't Leave Me Alone
優秀賞	稲墻 匠吾	大商学園高等学校	Follow your dreams down the tracks



豊中市長賞
松田 そら



豊中・サンマテオ姉妹都市協会会長賞
林 日茉莉



国際ソロプチミスト特別賞
出利葉 美結



優秀賞
末廣 真依子



優秀賞
稲嶋 匠吾



審査員のみなさんの講評

川合隆子さん（豊中・サンマテオ姉妹都市協会 監事）

皆さん一次審査からレベルが格段に上がっていたので、一生懸命に練習されたことと思います。結果に関わらず、これを機会に勉強して英語を好きになって、世界中に一生の友達をたくさん作ってほしい。

ブライアン ティーマンさん（大阪女学院大学 教授）

皆さんよく頑張ったと思います。ひとり一人のスピーチに感動しました。受賞を逃した人も自信をもってください。皆さんがこれから、電車の車掌になったり、オペラシンガーになったり、国連で働いたりと広い世界で活躍すると思うととてもワクワクします。これがスタートだと思ってまた挑戦してください。

ウィリアム クラインさん：（大阪女学院短期大学 准教授）

参加者の皆さんお疲れ様でした。今年もいろんなアイデアを披露してくれたことに感謝します。それぞれのメッセージがあり、ここにいる審査員はみな心を打たれました。ぜひここにとどまらず、挑戦を続けてほしい。

「笑い」が病気の回復にもいいと教えてくれたスピーチにとっても勇気づけられました。ありがとう。

大和 勢津子さん：（国際ソロプチミスト豊中-千里 副会長）

私にはフランスで仕事をしている娘がいます。彼女はもちろんフランス語を話せるのだけれども、彼女が言うには、これからは何をすることも英語が話せることが本当に重要だそうです。将来、世界で羽ばたくためにぜひ英語力に磨きをかけてもらいたいです。頑張ってください。



今大会で優秀な成績を納め、2020年豊中サンマテオ姉妹都市親善使節に任命された、松田そらさんと林日茉莉さんの二人は2020年度の一年間、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催のさまざまな交流活動に参加する予定です。

※ 国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中-千里からの協賛により設けられています。



新市長はジョー・ゴースルズさん

2019年12月にサンマテオ市議会の改選があり、
新市長は Joe Gothals さんに決定しました。



市長：Joe Gothals



副市長：Eric Rodriguez



議員：Amourance Lee



議員：Rick Bonilla



議員：Diane Papan

2020 年度事業計画

- ・ サンマテオ市学生親善使節の受入
 - ・ 豊中・サンマテオ姉妹都市親善使節のサンマテオ市派遣
 - ・ 豊中・サンマテオ女子ソフトボール親善交流団のサンマテオ市訪問
 - ・ 第49回高校生英語弁論大会の開催（2021年2月6日予定）
 - ・ 広報活動の推進
 - ・ 姉妹都市提携ニュース2020（第50号）の発行
- その他協会の目的達成のために必要な活動

提携ニュース第50号 令和2年（2020年）4月発行
豊中・サンマテオ姉妹都市協会（事務局：豊中市 都市活力部 魅力創造課 内）
TEL：(06) 6858-2863 FAX：(06) 6858-3864
E-mail：scat@city.toyonaka.osaka.jp